

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	介護保険課
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2326
	基本事業	介護保険サービスの充実		事業実施主体	市
	事務事業	介護保険補助金等事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	介護サービスを利用する（している）高齢者の安心や安全を確保するため、利用者及び介護サービス事業者に対し助成事業を行う。				
30年度概要	介護保険利用者負担軽減事業費 地域密着型サービス施設等整備事業補助金 地域密着型サービス施設等開設準備補助金				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

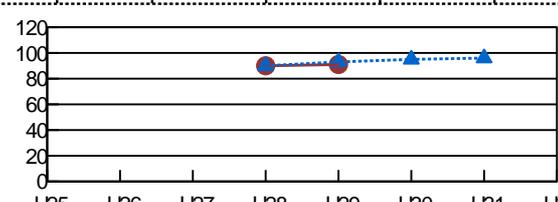
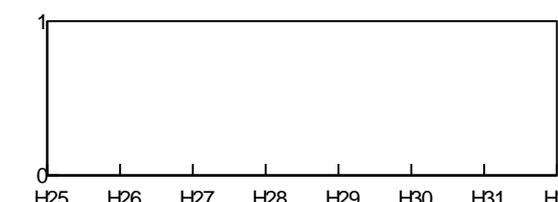
【事業の目的】

対象（何を）	介護サービスの利用者及び介護サービス事業者
意図（どのような状態にしたいか）	介護サービス利用者が安心・安全に暮らせるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
社会福祉法人等への利用者負担減額の協力依頼件数	件			12	12	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	社会福祉法人等利用者負担減額の対象となる登録率	%	目標値		90	93	95	100
			実績値		90	91		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 対象事業所に対し制度の理解を求めることにより、目標どおり、達成できている。 							(達成度) 97.8%
								34点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	26,554	46,868	96,598	43,477
（事業費）	[円]	11,200	31,166	81,424	28,303
（職員人件費）	[円]	15,354	15,702	15,174	15,174

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
助成の対象と成り得るもの、又は希望するものには、本市から直接若しくは介護サービス事業者を通じて周知を図り、適正に事業を実施している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
引き続き、助成の対象と成り得るもの、又は希望するものには、本市から直接若しくは介護サービス事業者を通じて周知を図り適正に事業を実施していく。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	地域包括ケア推進室
	施策	地域包括ケアシステムの構築		電話番号	087-839-2345
	基本事業	介護保険サービスの充実		事業実施主体	市
	事務事業	生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	支援が必要な高齢者のニーズに対応するため、国のガイドラインに基づき、サービスの提供体制の構築に向けたコーディネーター機能を果たす「生活支援コーディネーター」の設置やコーディネーターとサービス提供主体が参画する「協議体」での情報共有・連携強化等を通して、多様な主体による様々なサービスの提供体制を構築する。 また、市民等への周知・広報を行うとともに、サービスの担い手に対して必要な研修を行う。
-------	--

30年度概要	協議体開催（2回） 第2層生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）配置 市民等への周知・広報 サービス従事者への研修
--------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

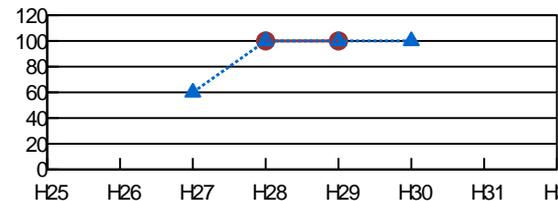
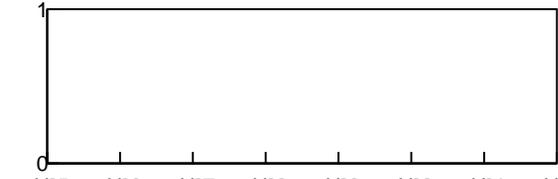
【事業の目的】

対象（何を）	高松市内在住高齢者
意図（どのような状態にしたいか）	多様な主体による様々なサービスが提供される体制を構築し、高齢者が、介護や支援が必要な状態になっても、住み慣れた地域社会で安心して安全に暮らすことができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
協議体の会議開催回数	回		1	2	2	2

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
体制構築進捗率	%	目標値	60	100	100	100	100
		実績値		100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成28年10月に、新しい総合事業への移行を開始し、平成29年10月には、完全移行できた。 							(達成度) 100.0% 35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	22,902	51,971	54,913	67,509
（事業費）	[円]	15,521	40,194	43,532	56,128
（職員人件費）	[円]	7,381	11,777	11,381	11,381

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

住民主体によるサービスの提供は、平成28年10月から実施し、29年度には合計で9地区（訪問9箇所、通所2箇所）となった。今後は、地域福祉ネットワーク会議設置済みの37地区を中心に、地域住民による地域の課題解決に向けた取組を推進するとともに、未設置の7地区についても、多方面からアプローチして、地域福祉ネットワーク会議の設置を促していく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

多様なサービスの利用促進を図るとともに、住民主体サービスの提供団体を増やし、地域全体で高齢者を支える体制づくりを推進する。